



競技報告・本戦 (2012/10/11)

写真と記事 : GUK

## 大博多CCが最多連勝記録の6連覇 通算12度目のV達成

ベストグロスとは73の松村康博 (湯の浦=鹿児島県南部地区)



V6を達成した大博多カントリー倶楽部



ベストグロス賞の  
松村康博選手

倶楽部の実力、名誉をかけた戦い、「インタークラブ」。今年は福岡市郊外の古賀ゴルフ・クラブ (6619 坪、パー72) に 26 倶楽部が出場して行われ、大博多カントリー倶楽部 (福岡県南部地区) がトータル 389 のスコアで6年連続、12 度目の優勝を飾った。昨年大会で連続優勝タイ記録の5連覇を達成していたが、今年は2位の有明カントリークラブ (同) に 21 打差をつける圧倒的勝利でV6を飾った。

出場者中のベストスコアに贈られるベストグロス賞は1オーバー、73 の好スコアで回った松村康博 (湯の浦、鹿児島県南部地区) が初めて獲得した。





秋晴れの好天の下での競技（晴れ、気温 20.3 度、北西の風 3 m＝正午現在）。各倶楽部から選抜された精鋭たちは、チームメートらの声援を受けてラウンド。松林にセパレートされ、砲台型で狭いグリーンはアンジュレーションもあり、選手を苦しめた。

そんな中で大博多 CC は、3 選手が 70 台のスコアで回るなど、メンバーが大崩れすることなく

くまとまり、ただ 1 チーム、合計で 400 を切るスコアを出した。

トータル 410 のスコアで 2 位になった有明 CC、さらに 5 打差、415 で志摩シーサイドカンツリークラブが 3 位に入り、上位 3 位を福岡県南部地区勢で占めた。



## 勝因は「絆」と篠塚武久監督

「いやあ、今年は（V6 は）難しいでしょう」と話していた篠塚武久監督だったが、終わってみれば、2 位に 21 打も差をつけるぶっちぎりの優勝。

もし、不安材料があったら、8 月末の地区予選の時にカート事故で負傷したポイントゲッター出利葉真一郎の回復具合だったろう。右肩を強打し、しびれが残っていた。最終的にメンバーを決めたのは当日朝。「本人は、行きます、と言ってくれた」。篠塚監督は送り出した。が、本調子ではなかった。

だから、「今年は…」になったろうが、残りのメンバーが十分すぎるほどにカバーした。「恐らく、この難しいコースだから、400 を 1 打でも切れれば勝てるんじゃないかと思っていたけど、想像以上でしたね」と顔をほころばせる。チームの基本でもある「最後まであきらめないというプレーをしてくれた。これがチームの絆でしょう」と勝因を口にする。

今年は、ミッドシニア入りした真鍋高光が九州ミッドシニア選手権を制し、大会初出場の江口信二（40）がクラブチャンピオンになり、上げ潮ムードの中での大会だった。

それにしても、強い。そう言うと、真鍋は「何といってもまとまりの良さだと思う」と言い、篠塚監督は「うちの選手たちはゴルフに取り組む姿勢が純粹だし、謙虚。強さの秘密はそこにあるんじゃないですか」と選手たちをたたえた。

会場の古賀 G・C は 1981 年に大博多が九州インタークラブで初優勝したコース。「何かの因縁かなとも思う。この大会は、多くの関係者や選手、いろんな人たちの絆で出来ている大会だと思う。さらに盛り上げるために、(来季に向け) 新たに一步を踏み出したい」（篠塚監督）と、まだまだ意欲を見せたチーム大博多だった。（Kiku）

## 「気分良く回れました」ベストグロス賞の松村康博

前日、会場入りして練習ラウンド。「難しい、というイメージより、こんなコース管理が行き届いたゴルフ場でラウンドできるだけでも幸せでした」と言う松村だった。

難コースにスコアが伸びない中で、1 バーディー、2 ボギーの 73。平均飛距離が約 270 ヤードというドライバーが好調で、「前半はフェアウエーキープでパーオンできた。後半は残り 4 ホールは寄せワンでしのぐ苦しい展開になったけど、我慢できた」と振り返った。

ゴルフ練習場支配人をする 44 歳。ゴルフ歴は 20 年になる。練習環境には恵まれているが、これまでタイトルとは無縁だった。「4 年前には日本アマに出たけど、1 打足りずに決勝マッチプレーには進めなかった」。

各クラブの精鋭が集うインタークラブ。団体戦とはいえ、その中でベストスコアをマークしたことは十分な勲章だ。これをきっかけに、九州のアマチュア界でひと暴れしてほしいものだ。



## 倶楽部の名誉をかけた戦い

# 最多連続記録の6連覇目指す大博多 阻止するのはどこか!!

明日 11 日 (木)、古賀 G・C で開催

連盟 (GUK) が主催する公式競技の唯一の団体競技。倶楽部単位での対抗戦「九州インタークラブ競技」は 11 日、福岡県古賀市の古賀ゴルフ・クラブ (6619 ㍎、パー-72) で行われる。

11 県地区で行われた予選には GUK に加盟する計 195 倶楽部が参加。この結果、予選を勝ち抜いた 25 倶楽部と開催倶楽部の計 26 倶楽部チームが本戦出場を決めた。1 チームは学生・生徒を除く 6 人 (うち 55 歳以上 3 人) で構成され、このうちのベスト 5 人のトータルスコアで優勝を争う。



選手を待つ参加倶楽部旗

昨年の大会 (福岡・夜須高原) では、大博多 CC チーム (福岡南部) が 2 位の大分竹中 CC (大分) にわずか 1 打差をつけるトータル 371 で 5 年連続、11 度目の優勝を飾った。今大会は、大博多 CC が連勝記録を伸ばすのか、連勝ストップにどんなチームが現れるのかが注目だ。



古賀 G・C 玄関

会場の古賀 G・C は玄界灘に面したシーサイドコースで、豊かな松林がホール間をセパレートしている。グリーン (ベント) は砲台型でアンジュレーションもきつく、松林、海からの風とともに難易度を高めている。これまで 2 度の日本オープン の会場になったほか、日本アマ、日本シニア、九州アマ、九州シニアなど日本、九州の各種選手権が開かれている。九州インタークラブ開催は第 11 回大会 (1981 年) 以来 31 年ぶりで、3 度目になる。